

平成 25 年度 事業報告

警 岡山理科大学附属高等学校

教育の質的改善に取り組むことによって、地域社会からいっそう信頼される高等学校づくりを推進します。



建学の理念ならびに附属高校校訓を具体的に実現するために、教育活動方針として(1)継続的な勉学の習慣と確かな

な学力を身につけさせる、(2)依存的な子どもから自立的な大人への脱皮を助ける生徒指導、(3)安全と健康に注意し自由な雰囲気醸成、を心がけました。主な事業に対する報告評価は以下のとおりです。

(A) 進学実績の向上については、平成24年度を下回る不本意な結果となりました。この結果を反省し、平成26年度は補習授業の体系的拡充、授業日時の増加などによって改善を図ります。

(B) SSH事業2年目は、1年目(平成24年度)にくらべて格段に多くのプログラムを円滑に展開できました。生徒の学習意欲・探求意欲を喚起し、良い影響を与えました。3年目のSSH(平成26年度)では、全校の生徒による取り組みへと広げるとともに、基礎学力の強化にも努めます。

(C) 生徒第一主義の立場から、校内組織を簡素かつ効率の良いものに改めるとともに、教員個人が現状を認識し危機意識をもって目的遂行のために協力しました。また、将来構想についても議論を深め、その準備を順調に進めました。

岡山理科大学附属高等学校

校長 宮垣 嘉也

教学の充実

SSH校としての取り組み

- ・全校一丸となり、研究開発・指導に取り組む体制を構築し、実行しました。
- ・事務処理(特に予算管理)の厳格かつ適正な運用に努めました。
- ・SSH事業内容
 - ①自然体験・科学部活動の充実によるW型教育モデルの推進
 - ②カリキュラムの開発
 - ③言語力や国際的素養の育成
 - ④高大連携・接続
 - ⑤新しい教育評価法の研究

関連校との連携による質の高い教育の提供

■出張講義の活用

- ・進学理大コース(岡山理科大学より)
- ・健康・スポーツコース(倉敷芸術科学大学より)
- ・アニメ・デザインコース(倉敷芸術科学大学より)
- ・生命動物コース
(岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・岡山理科大学専門より)
- ・進学医療コース
(岡山理科大学・玉野総合医療専門学校より)

■校外学習の推進

- ・岡山理科大学での電気系・機械系・情報系科目の受講
- ・科学の祭典等への参加

- ・倉敷芸術科学大学・吉備国際大学での実習（アニメ・デザインコース）
- ・池田動物園・岡山理科大学専門学校での実習
- ・山田養蜂場・山田みつばち農園での実習（生命動物コース）
- ・玉野総合医療専門学校での見学実習（進学医療コース）

学校内での学力向上取組

- ・学校行事を精選し、通常授業に加え、補習・諸検定試験の実施、模試の活用等により学力向上に努めました。

生徒指導への取組

- ・朝のあいさつ運動、自転車マナー向上運動を実施しました。また、頭髪、服装指導の強化に取り組みました。
- ・PTAと協力しての保導活動（街頭保導・列車保導）や、地域の岡北セーフティネットを通じて地域との協力・連携強化しました。
- ・教育相談室・保健室と担任・生徒部・管理職との連携強化を図りました。また、いじめ予防のための人権学習にも努めました。

進学指導と就職活動支援

- ・関連大学を紹介する機会を増やし、関連大学への進学者の増加に努めました。また、より上位校への進学を目指し、進学補習にも取り組みました。
- ・大学訪問を行い、指定校の獲得に努めました。
- ・学校斡旋就職率98.5%を達成しました。

教職員への資質向上への取組

- ・特にSSH校を中心に他校の事例を視察し、本校の教育活動の向上に努めました。

通信制課程

教育を受ける機会を最大限に配慮し、入学、転入学については、随時可能としています。また、入学した生徒に対し、学年令の区分にはしばられない、生徒の希望、資質、進路に適合したユニークなクラス編成を設定し、生徒のニーズに合った指導を実施しました。さらに以下の内容について重点をおいて実施しました。

1. 平日コースの充実

小学校、中学校就学時において、何らかの要因で十分な教育の機会と成果を得ることが出来ない生徒に対して、平日、週2日の通学を施し、ホームルーム、所定の授業、学校行事、各種研修を計画的に実施しました。このことにより、自律・協調・継続という社会性と教養を高める指導を単位制・学年制で充実させることができました。

2. 進路先の開拓と充実

通信制課程高等学校卒業後の進路確定率をさらに向上させるよう努めました。

3. 生徒募集活動の強化

学校説明会を毎月実施しました。また、ホームページの内容を充実させ、募集活動に結びました。

生徒募集

■ オープンスクール・入試セミナー

オープンスクールを3回実施し、本校の概要を中学生・保護者に知らせるとともに、各科・コースを紹介・体験することで本校への関心を高めるよう努めました。入試セミナーでは、入試制度並びに出題傾向を説明しました。

また、部活動オープンスクール(8月)では、本校の運動系・文化系の部活動を中学生に紹介し、部活動体験を通して本校への入学意欲を高めました。

■ 中学校対象説明会・中学校訪問

県内および近県の中学校進路担当者に対し、本校の概要・入試制度を知らせ、生徒への周知を依頼しました。中学生・保護者にも本校の概要・入試制度を説明することにより、興味を持たせ、受験を促しました。

■ 塾対象説明会・塾訪問

塾の先生に対し、本校の概要・入試制度を知らせ、生徒への周知を依頼しました。

■地区別説明会

生徒・保護者に対し、地区別に延べ21会場で説明会を実施しました。より身近に本校を感じてもらい、本校への理解・関心を深めました。

主な行事

4月8日	始業式
4月9日	入学式
4月14日	入学式（通信）
5月25日	PTA総会
6月16日	後援会総会（通信）
6月19日 ・25日	球技大会
7月20日	第1回ホープンスクール
7月28日	卒業式（通信）
8月25日	入学式（通信）
9月19日	体育祭

9月28日	第2回ホープンスクール
10月4日	文化祭
10月5日	文化祭（通信）
11月9日	第3回ホープンスクール
12月8日	卒業式（通信）
12月22日	入学式（通信）
1月11日	県外生入試
2月4～5日	選抜Ⅰ期入試
2月24日	選抜Ⅱ期入試
3月1日	卒業式
3月23日	卒業式（通信）

学生・教職員数

■在籍生徒数

（平成25年5月1日現在）

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
全 日 制 課 程	普通科	380	314	1,140	945
	進学総合コース				
	進学医療コース				
	特別進学コース				
中高一貫コース	80	61	240	202	
進学理大コース					
健康・スポーツコース					
アニメ・デザインコース					
生命動物コース	40	25	120	84	
電気情報科					
機械科					
全日制課程 計					500
通信制課程（広域）普通科				600	258
総合計		500	400	2,100	1,489

（単位：人）

■ 卒業生数等一覧

(平成25年度)

区分	卒業生	就職希望者	就職者	就職率	進学希望者	進学者	進学率	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
		A	B	B/A	C	D	D/C			
全日制課程	402	68	67	99%	317	308	97%	15	0	3
通信制課程	98	10	10	100%	52	44	85%			

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数 (平成26年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	ダイハツ工業(株)本社、(株)IHI相生事業所、両備ホールディングス(株)、(株)DNP住空間マテリアル (株)トミヤコーポレーション、倉敷運輸(株)、旭電業(株)、(株)ヤマサキ水島営業所、山九(株) 他
主な進学先	独協医科大学、兵庫医科大学、奈良女子大学、岡山県立大学、愛媛大学、立命館大学、関西大学、 同志社大学、関西学院大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 他

■ 教職員数

(平成25年5月1日現在)

校長	教頭等	教諭	教員 計
(1)※	4	72	76

※校長は大学教員と兼務

事務職員
19

(単位：人)

財務関係

■ 消費収支

(単位：千円)

科目	年度 25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	727,259	755,664
補助金収入	383,444	380,924
その他収入	97,128	73,399
帰属収入合計	1,207,831	1,209,987
基本金組入額合計	△ 99,929	△ 467,342
消費収入の部合計	1,107,902	742,645
人件費	1,075,014	1,022,611
教育研究経費	321,696	279,462
管理経費	120,415	137,250
その他支出	35,467	38,616
消費支出の部合計	1,552,592	1,477,939

■ 施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
第九校舎新築工事 (建設仮勘定)	10,438
第十校舎1階女子トイレの改修	4,914
研修館空調機の整備	7,980
理科教育用機器備品	24,150
第九校舎取り壊し工事	19,114